

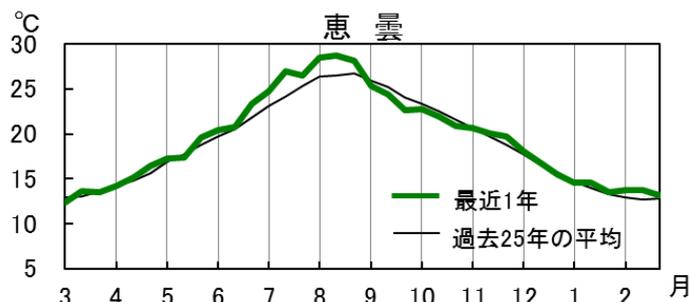
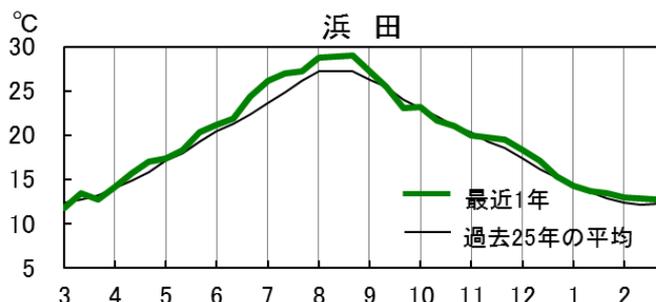


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《2月の海況》



2月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	12.9℃	+0.6℃	かなり高め	13.6℃	+0.8℃
中旬	やや高め			かなり高め		
下旬	やや高め			平年並み		



## 《2月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マイワシ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の5割、マイワシは平年の8.7倍でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は93.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは2,666トンで平年の15倍、マアジは1,943トンで平年の1.2倍、サバ類は1,028トンで平年の5割でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はスルメイカのみで、1隻1航海当りの漁獲量は84.0kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカのみで、1隻1航海当りの漁獲量は54.0kgで平年を下回りました。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アカムツ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は16.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の4.4倍、アカムツは平年の2.4倍、マダイは平年の3.6倍でした。その他、マトウダイは平年の2.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.2倍、ソウハチは平年の1.1倍、ケンサキイカは平年の9割、アンコウ類は平年の8割、スルメイカは平年の4割、マフグは平年の2割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は294トンでした。1統1航海当りの漁獲量は1,000kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の1.1倍、アカガレイは平年の5割、ヒレグロは平年の8割でした。その他、キダイは平年の6.9倍、ヤナギムシガレイは平年の3.2倍、ニギスは平年の1.7倍、アカムツは平年の1.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.3倍、アンコウ類は平年の1.2倍の水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ、ブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の4.8倍、ブリは平年の9割、マアジは平年の3.1倍でした。石見地区ではブリ、マアジ、クロマグロ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は3.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の17倍、マアジは平年の8割、クロマグロは平年の2.3倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は13.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の3割、マアジは平年の6.2倍でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33.7kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割でした。隠岐地区では、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の9割でした。

【令和5年2月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マイワシ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、マアジ、サバ類	6,103トン	272%	139%	93.9トン	267%	185%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	0.2トン	3%	2%	84.0kg	16%	21%
	西郷	スルメイカ	0.4トン	16%	14%	54.0kg	75%	62%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アカムツ、マダイ	228トン	106%	89%	16.3トン	121%	116%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ	294トン	147%	92%	1,000 kg	104%	96%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ、ブリ、マアジ	173トン	142%	125%	19.2トン	126%	114%
	石見	ブリ、マアジ、クロマグロ	7.9トン	92%	41%	3.9トン	92%	53%
	隠岐	スルメイカ、マアジ	27.1トン	100%	62%	13.5トン	150%	65%
釣り・縄	出雲	ブリ	31.4トン	231%	78%	33.7kg	92%	68%
	石見	ブリ	17.8トン	145%	61%	22.1kg	68%	63%
	隠岐	ブリ	12.9トン	121%	70%	21.6kg	65%	65%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ